



初嶺 磨代さん

【プロフィール】 1992年 宝塚音楽学校へ入学 1994年 宝塚歌劇団入団 1995年 雪組配属 1998年 宙組発足メンバーとして宙組に組替え。宝塚歌劇団男役スターとして活躍 2007年 『A/L 怪盗ルパンの青春』ガニマル警部役を最後に宝塚歌劇団退団。宝塚歌劇団退団後は舞台を中心に、映画、ドラマ、リポーターとして活躍 2014年 宝塚のノウハウを活かした女性専用スタジオ「Dance&Fitness StudioHatsuNe」をOPEN 2015年 宝塚受験コースを開講。後進の育成を開始 2018年 スタジオ2号店「Studio HatsuNe ジェンヌスタイル」を池袋に開講。著作に『宝塚式品格レッスン』(文藝春秋)。その他、様々な商品プロデュースを手掛けるなど、独自のメソッドや話題で、テレビ雑誌などメディアでも多数取り上げられ注目を浴びている。

宝塚と同じくらい炭酸を愛しています！

元タカラジェンヌの初嶺磨代さん。退団後は舞台の他、映画やドラマ出演、リポーター、ダンス講師、講演活動など活躍の場を広げていきながら、宝塚でのノウハウを活かしボディメイクやビューティアドバイザーとして全国でセミナーを精力的に開催。2014年には美と健康のためのスタジオ「Dance & Fitness Studio HatsuNe」をオープン。宝塚受験コースでは毎年多くの合格者を輩出し、元タカラジェンヌならではのレッスンプログラム「なりきり宝塚」も大人気。後進の指導育成にも力を注いでいる。そんな美と健康の伝道師、初嶺さんが宝塚愛と同じくらい、炭酸愛を語ってくれました。

美は一日にして成らず！

身体の変化には人一倍敏感な子でした

いつ頃から宝塚ファンになったのか、自分でも思い出せないくらい、もの心ついた時にはすでに宝塚が好きになっていました。

ですので、将来タカラジェンヌになるというのは私の中では当たり前で、子供の頃から「人に見られる」ことを意識していました。それは姿勢の美しさだったり、お肌や髪だったり。身体の変化には人一倍敏感で、健康にも気を遣う子供でした。

念願叶って、18歳の時宝塚音楽学校に入学します。規律が厳しいことで知られる学校ですが、そこは年頃の女の子。女子トークの話題はもっぱら美容。これは宝塚歌劇団に入団してから同じでした。

憧れの先輩が〇〇を使っていると聞けば、全員が〇〇を使いたすという（笑）。「人に見られる」お仕事ですから、お肌だけでなく、心と身体の健康には皆さん

気を配っていました。少しでも身体にトラブルがある」と舞台上に差し支えますから。

キレイでいなければならぬお仕事ですが、お肌にとって舞台は過酷な環境。舞台用メイクや強力な照明にさらされるわけですから、少しでも油断すると肌トラブルを起こします。

若い頃、美容にとことん投資していましたが、今は炭酸だけで充分満足!!

現在の私は、40歳をとくに過ぎました。ですが、肌の状態は今が一番良いように感じます。実際、初めてお会いする方からは必ずお肌のことを褒められますので、決して気のせいではないと（笑）。

宝塚退団直後はテレビのお仕事も増えたこともあり、ますます美容オタクに磨きが掛かりました。お化粧品だけでなくサプリメント、エステサロンに美容医療とありとあらゆる美容法

肌トラブルがあると仕事にも差し支えますので、とにかく美容と健康には気を使っていました。今思い返すと、タカラジェンヌ時代風邪ひとつひいたことがなかったですね。

宝塚時代、少しでも気になることがあれば、放っておかない、ちょっとしたケアを積み重ねる。これを毎日続けることで、美と健康を維持していたように思います。

もちろん、どれも良いものばかりだったのですが、何でしょうね。何かこう、根本的な解決に至ってないような気がして、100%満足という気持ちにはならなかったのです。

それが、東洋炭酸研究所の炭酸パックに出会ってからは炭酸ひとすじ！使ってみて、根本から美肌を作ってくれるのは「炭酸」だと

いうことを実感しました。

炭酸は宝塚と同じで、何事も基本が大事ということをお伝えられます。炭酸の力で、汚れをしっかりと落とし、血行を高め、酸素と栄養を肌細胞に行き渡らせる。肌の基礎体力がなければ、

炎症を起こしてジュクジュクだったニキビ肌がつつかりキレイに

私の教室は10代から60代の生徒さんが在籍しています。面白いことに、年代によって支持される炭酸ケアが違うのです。

10代20代の若い層は、特に炭酸パックが人気です。これに関しては、印象深いエピソードがあります。

宝塚受験コースに在籍していた15歳の生徒さん。お年頃のせいもあってニキビが酷かったのです。そこで、病院に行くように勧めたのですが、親御さんのポリシーで、病院も薬もNGだということです。

そのうちニキビが炎症を起こして、大変なことに。見た目も良くないですし、きちんと治しておかないとクレーター肌になってしま

ば、どんなに良いものを取り入れてもお肌は受け付けてはくれないのです。

炭酸の凄さを知ってから、頭皮ケアも口腔ケアも炭酸。スクールの生徒さんの多くが気が付けば、炭酸ファンです。

受験にも影響することから生徒さんに「とにかく炭酸パック使って！」とプレゼントしたのです。

すると1か月もたたないうちに、炎症が収まりニキビも消え、すっかり肌がキレイになったのです。

改善の経過を見守っていた親御さんも、認めざるを得なかったようで、その後も生徒さんは炭酸パックを使い続けています。

アラフィフ以上の生徒さんたちに圧倒的人気の炭酸ヘッドスパ

炭酸パックはどの世代からも支持を得ていますが、50代後半から60代の生徒さんたちの間で、突出しているのが炭酸による頭皮ケア。

この世代の皆さんがおっしゃるには「50歳過ぎたら、お肌より髪の老化が気になる」と。さらに「肌はファンデーションでごまかせるけど、髪は年齢がモロ出てしまう」とも。

だいたい55歳を過ぎたあたりから、髪が痩せ、潤いがなくなりゴワゴワ・パサパサ、ポリウムもダウン。クセも強くなり、似合う髪

2年間、歯のメンテナンスに行けなかったのに「歯石がない！」と歯医者さんに驚かれました

これは、最近私自身が体験したエピソードなのです。新型コロナ騒ぎで、およそ2年間、歯医者さんに行けてなかったのです。コロナ以前は3ヶ月に1度、メンテナンスのために定期的に通っていたのですが、感染が怖くて行くのを止め

型が見つからなくて、美容室やシャンプーブッシュになってしまおうのだそう。

そんな髪悩み世代の心をつかんだのが頭皮をケアする東洋炭酸研究所のスカルプケア商品。炭酸で頭皮ケアを行うようになってから、ウソのようにハリ、コシ、ツヤが出て、若々しい髪を取り戻せたと報告してくださいいます。

確かに、髪が若返ると全体が若返ったように見えますね。やはり髪は女の命であることを思い知らされました。

ていました。

もちろんその分セルフケアには気を使っており、特に『デンタルスパ』は1日3回どころか、気になったらつねにブクブクさせていました。

『デンタルスパ』とは通称「お口の炭酸パック」。

炭酸と抗菌作用のハーブ、乳酸菌の入ったパウダーを口に入れると、パウダーが泡となって歯と歯の間からお口のスミズミまで、洗浄してくれるという面白い口腔ケア食品です。コロナの感染が減少傾向になった9月、2年ぶりに歯医者さんに伺ったところ「歯石がついてない！」と驚かれたのです。

これには私自身がビックリです。何しろ『デンタルスパ』以外特別なケアを行っていないのですから。正直、以前の（3カ月に1度のメンテナンスは何だったんだ？）と思ってしまいました（笑）。

思えば生徒さんも私も、炭酸にはずいぶん助けられています。私のスタジオの理念は「大人も子供も、皆キラキラと輝くような笑顔にさせる」こと。考えてみれば、炭酸も同じですね。どうりで相性がいいわけです（笑）。

これからも、レッスンやメディアを通して、宝塚と炭酸の魅力をどんどん伝えていくつもりです！

Dance & Fitness Studio

HatsuNe

